

平成29年度 第1回 津久見市観光戦略会議

<議事要旨>

1. 実施概要

(1) 日時・場所

日時：平成29年6月28日（水）13時30分～15時

場所：津久見市役所大会議室

(2) 出席委員（※敬称略）

川野 幸男（委員長）	津久見市長／津久見市観光協会会長
阿部 晴彦	大分県中部振興局地域振興部長
荒川 孝二	（公社）ツーリズムおおいた専務理事
原尻 育史郎	津久見商工会議所専務理事
佐藤 徹一	大分銀行津久見支店長
井上 千鶴	JA おおいた南部事業部女性部津久見支部長
北山 雅	津久見商業協同組合理事長
野田 慎也	太平洋セメント(株)大分工場業務部長
高瀬 幸伸	まちづくり団体 （まちづくりツクミツクリタイ）のリーダー
後藤 慎二	津久見タクシー(株)代表取締役社長
稲吉 貴之	大分バス(株)貸切営業部旅行センター所長
浅野 総一	大分合同新聞社編集委員長
黒枝 康浩	津久見市農林水産課長
石堂 克己	津久見市生涯学習課長

※委員18人中、14名出席。津久見市観光戦略会議設置要綱第5条第2項の規定により、出席委員が過半数に達しているため会議は成立

(3) 事務局

旧杵 洋介	津久見市商工観光課長
宇都宮志伸	津久見市商工観光課主幹
吉田 博之	津久見市観光協会事務局長（商工観光課付業務支援）
渡辺 直樹	津久見市商工観光課主査
長 英一郎	津久見市観光協会事務局次長（商工観光課付業務支援）
河野 由芽	津久見市観光協会事務局員（商工観光課付業務支援）
吉谷地 裕	日本交通公社観光地域研究部主任研究員

2. 議事要旨

1. 開会

2. 委員長あいさつ

今年度は観光戦略ができて良い出発を迎えられた。5月14日にはイルカの子どもが無事誕生し、観光に明るい話題をいただいた。市内だけでなく市外、県外からも期待が盛り上がっていると感じている。

今年度は地方創生推進交付金を活用した人材育成事業をスタートさせる。人材育成は観光にとりかかるにあたり必須事項で、最終的に津久見のビジネスへ繋げるように自立した動きになるだろう。

観光協会では前観光協会会長が退任し、後任として私が観光協会会長を務めることとなった。前会長が取り組んでいたことを更に発展させ、観光戦略と連動して動いていきたい。

3. 委員紹介

事務局より異動に伴う委員交代の説明があった。

4. 議事

(1) 津久見市観光戦略会議設置要項の一部改正及び副委員長の選任について

事務局より、副委員長の選任について、津久見市観光協会副会長 佐藤公一氏が推薦され、全会一致で承認された。

(2) 平成28年度地方創生推進交付金事業の進ちょく状況について

「地方創生推進交付金を活用した観光関連事業」、資料3「平成28年度地方創生推進交付金事業進ちょく状況管理シート」、「四浦半島河津桜の取組」、「観光戦略コンセンサス形成事業」について、事務局より説明があった。次頁に委員の意見を掲載しているが、事業の進ちょく状況、事業評価、課題及び今後の展望等について、その内容も理解され全会一位で承認された。

5. 報告

(1) 平成29年度地方創生推進交付金事業の概要について

「地方創生推進交付金を活用した観光関連事業」について、事務局より説明があった。

(2) 「地方創生人材育成事業」について

「平成29年度地方創生人材育成事業」について、事務局より説明があった。

(3) 「イルカ研究サミット in つくみ」について

「イルカ研究サミット in つくみ」について、事務局より説明があった。

※参加委員による意見等（事務局による要約）

＜観光商品について＞

- ・ 「ブルーツーリズム」は実現に向けた機運が醸成されてきた。旅館と連携する等、実現にむけた取組推進が望まれる。
- ・ 大分県で近年もっとも注目されている杵築の「着物体験」の取組は、宿泊にこだわらず、空港からの通過点という立地を活かし、導線やターゲット（訪日外国人観光客）を明確に意識しており、本市の取組において参考になる。
- ・ 三次交通（バス、タクシー）と連携した商品開発も重要なテーマである。
- ・ 着地型旅行商品の開発と連携して、商店街や飲食店等にお金を落とす取組が重要である。そのためには、既存メニューに加えて、新たな商品開発等も重要である。

＜人材について＞

- ・ 本戦略の実現にむけて人材育成が特に重要である。
- ・ 観光推進の中心となる人物の育成が必要である。津久見への強い思いがあるとともに、外部（町外）の視点も持った人物であることが理想である。また、そうした人物や新しい取組を、地域全体で支えることが必要である。

＜受入体制について＞

- ・ 河津桜観光の花見客の受入に向けて、更なる受入体制強化を図りたい。
- ・ 杵築の着地型観光では、観光協会が旅行会社や個人客の一元的な窓口として機能している。

＜地域内の連携・協力について＞

- ・ まちづくりと観光の取組は共通部分も多く、連携することが望ましい。
- ・ 近年民間まちづくり団体や、漁業者、農業者、商店街を始め、観光と連携可能な取組や体制が生まれてきており、連携・協力が重要である。

7. 諸連絡

「（仮称）津久見観光盛り上げ隊」メンバー募集、「ひゅうが井キャンペーン」、「つくみ港まつり（ソイヤ！つくみ、納涼花火大会）」、「津久見扇子踊り大会」について連絡があった。

8. 閉会

以上